

額を伺います。

答 経済環境部長 農作物の被害額が4億4130万円、ビニールハウス、畜産施設、農業施設等で12億9100万円、停電による二次災害が4970万円、合せて17億8200万円の被害が発生しました。

問 農業用施設については、救済措置が実施されるようですが、農作物に関して救済措置はあるのか伺います。

答 経済環境部長 農作物については、現在救済措置はありませんが、農業共済、収入保険制度等を活用していただきたいと思っています。

問 被災農家の必死の思いを理解していただき、それぞれの農家が安定した農業経営ができるように、どのような救済措置や税の軽減措置等を考えているのか伺います。

答 市長 被災農業者向けに、国および県の補助を受けて、補正予算を上程しました。被災農家に対し9割の補助制度を実施し、農業者への支援を行う予定です。農家の方々が安定した農業経営ができるよう努めます。

成田空港に対する市の考 え方について

問 A滑走路夜間飛行制限緩和に伴い、深夜1時間の延長に対する、住民からの苦情・問い合わせについて伺

います。

答 総務部長 10月27日の夜間飛行実施後、市には直接苦情等の問合せはありませんが、成田国際空港(株)には、本市住民から1件あったとのことでした。

問 今年7月から実施している、航空機騒音対策空調機器設置事業での申請件数と、その財源について伺います。

答 総務部長 航空機騒音に影響がある地域にお住いの方の負担軽減策として、空調機器設置費用の90%、上限額8万円を補助するもので、11月末現在で721件の申し込みがありました。財源としては、成田国際空港(株)から一時金として交付されている、空港周辺地域支援金の1億円のうち、6400万円を充当しています。

問 成田空港の更なる機能強化に伴い、空港で働く市民が増加すると考えられます。空港へのアクセス道路の計画と整備状況について伺います。

答 都市建設部長 成東・山武地域方面から成田空港方面へのアクセス道路については、成東地域では、一部区間のルート選定に係る基本的な調査を、山武地域では、市道麻生新田・横田線、埴谷・板川線等の整備を実施しています。今後は、富里市や芝山町の道路計画等と関連性を持たすなど、広域的な調整が必要になると考えます。



新政会 戸村勝敏 議員

防災について

問 サンプスギの倒木対策について、国、県の取り組みを伺います。

答 経済環境部長 現在、林野庁において、重要インフラ施設周辺森林整備の創設が予定されています。道路、鉄道、送配電の重要インフラについて、被害を及ぼす懸念がある森林整備の支援です。市としては、森林所有者と関係者による意見交換会を開催し、森林整備を進めていきたいと考えます。

問 個人での発電機購入への補助について、検討しているのか伺います。

答 総務部長 個人の資産となることから、公費を以って充てるべきではないと考えています。自主防災組織を設立する際に補助金を交付しており、簡易発電機も補助の対象となっていることから、組織として発電機を保有しているか伺っています。

問 10月25日の大雨では、畑から民家に土砂が流入した箇所がありました。土砂の撤去に対して、補助はあるのか伺います。

答 総務部長 現段階では、住家に土砂災害による被害を受けた場合、撤去経費の3分の1、上限を50万円として、補助する制度があります。

問 10月25日の大雨では、市に避難勧告が発令されましたが、その時には既に床下まで浸水した地区があったと聞いています。特定の地域に早期に情報伝達することができるか伺います。

答 総務部長 山武地区や上流部での大雨による急激な水かさの増加により、避難勧告時には作田川が越水していました。今後、避難勧告発令の基準として参考にしていきます。

また、防災行政無線の多重化として、地域を指定して情報を発信できる、情報発信システムの導入を、現在、検討しています。

問 今回の台風の災害において、災害時の相互応援協定は、どのように機能したか伺います。

答 市長 協定を結んでいる常総市においては、発災2日後にブルーシートや、給水車および、職員の派遣を伴う給水活動をしていただきました。また、市長の訪問を受けました。同じ